



須田っ子 第4号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・QA・DA



「何を出すかな?」(1.6.21 いじめ見逃しゼロ集会)

度(の授業改善は、多様な考えを引き出し(拡散)対話を通して深い学び(収束)のある授業になります。そのため、七月の学習参観日には、須田小の授業スタイル(骨組み)をお示しします。ただし、画一的なマニュアルは、授業を硬化させてしまいません。そこで、共通の骨組み部分は2割、あとの8割には、子供と指導者との日頃の関わり方、指導者の個性・人間性・性格などが入ります。規格化されないからこそ、右の太文字に近付くと考えます。

粗朶(そだ)ね(で)育(つ)...

「剪定」の際に生まれる小枝「粗朶(そだ)」の価値は低いですが。しかし、人間は植物とは違い、自分で自分を変化させる存在です(可塑性)。

六月実施の「いじめ見逃しゼロ集会」で、「給食配膳の時、盛る量を増すことを全校で考えました。その際、ある子供の言葉「お腹が痛くなつて食べ切れないよ」に感心しました。自分か誰かの体験を相手に置き換えた、大人にも染みる言葉だと思いました。つぶやきも「そだね!」と、しっかり受け止めて「選定」して、育てていきたいです。

個性が決まります。四月の学校経営説明会の際にお示したグラウンドデザインにもあるように、今年

びつくりするのは、先の番組のトークの8割は出演者のアドリブだそうです。勿論番組の大きな枠組みや流れは決まっているでしょうが、「つなぎ」は、出演者の個性が決まります。

アドリブの大切さ

前に、「子供から引き出す」ことで、学習意欲は高まります。須田小でも、子供の考えに対して「どうしてそう思ったの?」「もう少し例を出してお話をして!」等の対話スキルを活用して、考えの広がり(拡散)につなげていく取組を続けています。

アドリブ8割

校長 内山 晋



須田小 イイね!

「夏チャンネル」と「梅雨チャンネル」の切り替わりが急な6月です。各学年でまとまり落ち着いて学習に取り組める月です。6年生は修学旅行、そして今後行われる5年生の自然教室は、「自分たちで」考え行動することを強く意識する貴重な体験学習です。普段の授業でも、理由(根拠)を示した発言が多く聞かれます。多様な考え方には、多様な方法だけでなく、多様な理由(根拠)をもつことも含まれます。学習参観日には是非ご来校ください。



5月30日(木) 高学年 プール清掃

一年間の休憩をとったプールも、高学年の子供たちの清掃活動ですっきり目覚め、空と同じ色の元気な姿を見せました。



6/6(木) 20日(木) なかよし給食

1年生から6年生までの子供たちが一緒に給食を食べる給食会をしました。お互いの食事の様子も意識して、ちょっと自分の食べ方を振り返りました。



6/11(火) 防犯訓練

加茂警察署の方を講師に、教室内に不審者が侵入した想定で、避難・通報の指導をしていただきました。普段からできること(落ち付いて授業に臨むこと、はっきりした声を出して相手に伝えること)も指導しました。



6/18(火) 科学の目づくり

中学年と高学年の部に分けて、科学研究の進め方の学習をしました。講師は、加茂地区理科教育センター土田先生です。



6/20(木) 体力テスト

全校で体力テストを行いました。6年生がリーダーになり、4つの種目に挑戦しました。

須田小へ「イ」ここへ

